

令和5年度 雲仙市入札監視委員会 第2回定例会 議事概要

開催日時	令和5年11月13日（月）午前9時00分～午前10時30分
開催場所	市役所本庁舎別館3階 会議室2
委員	<p>中村 聖三 委員長（長崎大学大学院 工学研究科 教授）</p> <p>川島 陽介 委員（弁護士）</p> <p>山口 純哉 委員（長崎大学 経済学部 准教授） 欠席</p> <p>重野 淳 委員（公募委員）</p> <p>山下 金光 委員（公募委員）</p>
次第	<p>▶指名停止措置案件の報告</p> <p>▶抽出案件の審議</p> <p>① 小浜中学校校舎15棟屋上防水等改修工事実施設計業務</p> <p>② 愛野小学校職員室拡張工事実施設計業務</p> <p>③ 愛野運動公園グラウンド照明改修工事</p> <p>④ 愛野農業研修センター解体工事</p> <p>⑤ 旧千々石支団第1分団詰所解体工事</p> <p>⑥ 市道国見塩屋下原線改良工事</p> <p>⑦ 雲仙市道路橋定期点検業務</p>
市出席者	<p>財務部長 三宅隆浩</p> <p>【事務局】</p> <p>契約検査課長 峰添恒彦（欠席）</p> <p>契約検査課課長補佐 山口定征</p> <p>契約検査課課長補佐 廣瀬祐二</p> <p>契約検査課参事補 相川貴志</p> <p>【工事担当課】</p> <p>総務課…富永課長、井上課長補佐</p> <p>スポーツ振興課…草野課長、川原主査</p> <p>建築課…金澤課長、川原課長補佐、前田参事補</p> <p>農林課…久保田参事、芦塚参事補</p> <p>市民安全課…宮崎課長、松田参事補</p> <p>道路河川課…北川課長、横田課長補佐、川島課長補佐、大久保主査、西田主事</p>

指名停止措置案件の報告	
質 問 ・ 意 見	回 答
<p>今回の指名停止措置を受けている会社は、雲仙市の指名業者なのか。</p>	<p>雲仙市に指名願いを提出している業者である。</p>
審議 1 小浜中学校校舎 15 棟屋上防水等改修工事実施設計業務 審議 2 愛野小学校職員室拡張工事実施設計業務	
質 問 ・ 意 見	回 答
<p>辞退、不参加が多い (市の業者選定方法についてお聞きしたい)</p> <p>市内業者に限らず市外業者を含めたところでの業者選定は考えてないのか。</p>	<p>業者選定の方法については、建築一般部門に登録を有し、年間平均実績高をもとに、市内本社及び市内の委任営業所から選定をしている。</p> <p>辞退、不参加が多い理由については、手持ち仕事が多い、技術者の確保が困難ということであり、会社の人員不足も関係しているのではないかと推測をしている。</p> <p>まず市内業者及び市内に委任営業所を有している業者からの選定が基本である。</p>
審議 3 愛野運動公園グラウンド照明改修工事	
質 問 ・ 意 見	回 答
<p>失格の中で半額の入札をしている会社がある。(機器の在庫があった社が半額入札をしたのではないか)</p> <p>在庫を持っている業者がいれば、随意契約というのも考えられるのではないか。</p>	<p>失格業者の内訳書の確認を行ったところ、照明器具の単価に市が積算している額と大きな差があった。</p> <p>失格業者に聞き取りを行ったが、器具の単価の入力誤りであるという事であった。</p> <p>電気配線・配管工事及び、据え付けを伴う工事として発注を行うものであり、事前の調査を行い発注するのは、難しいと考える。</p>

審議 4 愛野農業研修センター解体工事

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>入札額にばらつきがある。</p> <p>解体工事という、割と工種的にも簡単な工事でも、他の工事と同じような最低制限価格の率の設定か。</p>	<p>設計自体は、違算はなく適正に積算されているのは確認している。</p> <p>業者の内訳書と比較しても、設計額は適切であった。</p> <p>失格者の内訳書を確認したところ、取壊し発生材である混合物の処理単価の違算や共通費の積算で誤りが見受けられた。</p> <p>解体工事と土木工事、あるいは建築工事等で最低制限価格の率を変えることはしていない。</p> <p>解体工事については、特に安全管理や施工手順等、通常の土木工事等にはない技術や施工管理が必要であり、簡単な工種とは位置づけをしていない。</p>

審議 5 旧千々石支団第 1 分団詰所解体工事

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>多数の応札者が最低制限価格未満。 (予定価格の設定は適切だったのか)</p> <p>単純ミスであれば、全体的に注意喚起をするのも必要である</p>	<p>設計自体は、違算はなく適正に積算されているのは確認している。</p> <p>業者の内訳書と比較しても、設計額は適切であった。</p> <p>失格者の内訳書を確認したところ、取壊し発生材である木くずの処理単価の違算や単価の桁数、刊行物掲載の単価にて計算する際の換算に誤りが見受けられた。</p>

審議 6 市道国見塩屋下原線改良工事

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>ランダム係数による圏内の業者の排除。 (ランダム係数の影響によって、圏内にいる多くの業者がはじかれて、比較的高めの額で入札した業者が落札に至っている。)</p> <p>一定の期間経ったときに、ぜひ検証してもらいたい。</p>	<p>設計自体は、違算はなく適正に積算されているのは確認している。</p> <p>ランダム係数により失格者多数という状況については、年度当初ということもあり、多くの業者が、積極的な低い額での応札を行った結果と推測している</p> <p>以前から指摘を頂いている、ランダム係数による弊害の対策として、最低制限価格の算定に係るランダム係数の変動範囲の見直しを、内部で協議しているところである。</p> <p>来年度適用に向けて、準備中である。</p>

質疑 7 雲仙市道路橋定期点検業務

質 問 ・ 意 見	回 答
<p>落札率が高く、失格者が多数である。</p> <p>応札額が比較的高い、積極的な落札の意思が見られない業者が落札しているが、業務自体は問題なく履行したのか。</p>	<p>点検業務については、今現在、インフラ整備について、施設の延命化、長寿命化がうたわれており、橋梁の定期点検についても、管理橋の5年に1回の定期点検が義務づけられているため、実績をつくりたい業者が、最低制限価格帯での応札した結果であると推測している。</p> <p>新技術を使った点検内容等、積極的な提案があり、業務の内容としては非常にいいものであったと、担当課としては思っている。</p> <p>建設コンサルタント業務も、ランダム係数による弊害の対策として、最低制限価格の算定に係るランダム係数の変動範囲の見直しを、内部で協議しているところである。</p> <p>来年度適用に向けて、準備中である。</p>

審議案件に関する委員会の所見

いくつか議論があったが、審議の結果、入札及び契約の過程並びに契約の内容等の透明性や競争性の確保について大きな問題は認められない。